



わたしたちの 日本一 美しい村

2013

広報

しらかわ

10月号
No.507

県指定無形民俗文化財である白川村の「獅子舞」は、7地区の獅子舞保存会によって保存継承されています。そのほとんどがユタンの中に4人入っています。そのほとんどがユタンの中に4人入っています。そのほとんどがユタンの中に4人入っています。剣が入る8本足の「むかで獅子」の舞が特徴で、剣や刀などを持った「獅子とり(花とり)」の子供2人が獅子を退治する舞などがあります。平瀬獅子舞保存会では、どぶろく祭りに向けて「獅子舞」の練習が積み重ねられ、当日は迫力ある舞が奉納されました!

平瀬獅子舞保存会
天下御免のどぶろく祭で「獅子舞」奉納!

CONTENTS

財政健全化判断比率等について	3
福島県飯舘村復興支援を実施	4
「結婚支援ポータルサイト」を開設	8
カメラさんぽ topics	14



the most beautiful
villages in japan

議会だより

9月20日(金)～10月1日(火)にかけて、平成25年第3回白川村議会定例会が行われました。

会では、行政報告、平成24年度財政健全化判断比率の報告、平成24年度大白川温泉観光株式会社、一般財団法人白川村緑地資源開発公社、一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団の経営状況報告、意見書の提出、議案等について審議され、全て原案通り可決されました。

□人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
人権擁護委員法の規定により、次の者を委員の候補者として推薦しました。

原田 秀嗣氏
荻町385番地

□道州制導入に断固反対する意見書の提出について

町村議会では、平成20年以来、町村議会議長全国大会において「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと。」とする要望を決定し、4月25

日には、全国町村議会議長会が「町村や国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、道州制の導入が決定したかのごとき法案が提出されようとしていることは誠に遺憾である。」とする声明を発表しました。7月18日には「道州制は絶対に導入しないこと。」とする要望を決定し、政府・国会に対し、要請してきたところです。

しかしながら、与党においては、道州制導入を目指す法案の国会への提出の動きが依然として見られます。これらの法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、同州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退することが明らかです。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全などに努め、個性あるまちづくりを進めてきました。個々の自治体

の活力を高めることが全体としての国力の増強につながるものであると確信しています。よって白川村議会は道州制の導入に断固反対します。

この意見書は、衆参両院議長、内閣総理大臣をはじめ、関係大臣に提出されました。

□平成24年度一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定について
一般会計・特別会計の主要な施策の成果について説明するとともに、今後も健全かつ堅実な自治体運営の推進に努めることを報告しました。

詳しい内容については、改めて広報しらかわに掲載します。

□白川村子ども・子育て会議条例の制定について

平成24年8月に成立した「子ども・子育て支援法」他関連する3法に基づき白川村子ども・子育て会議条例が制定され、同会議が設置されました。

□白川村非常勤の特別職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

白川村子ども・子育て会議

条例の制定に伴い委員報酬等が必要となったため、改正されました。

□御母衣辺地総合整備計画の策定について

村道御母衣長瀬線長瀬橋の塗装、防護柵補修、落橋防止工事、村道御母衣長瀬線の法面吹付工事を実施するため、総合整備計画が策定されました。

□工事請負契約の締結について

地方自治法及び白川村議会の議決に付すべき契約等に関する条例の規定により、工事請負契約を締結しました。

契約工事

社会資本整備総合交付金事業

長瀬橋補修工事

契約方法

指名競争入札

契約の相手方

御母衣建設(株)

工期

契約日：平成26年3月20日まで

契約工事

社会資本整備総合交付金事業

有家ヶ原橋補修工事

白川村子ども・子育て会議

契約方法
指名競争入札
契約の相手方
沢田建設(株)

工期
契約日：平成26年3月20日まで

一般質問

10月1日に行われた議会一般質問については、改めて広報しらかわに掲載します。

平成25年度補正予算について

□一般会計(第2回)

増額： 4億 474万9千円

計： 33億4,614万9千円

増額の主なもの：財政調整基金積立金・土木総務費など

□国民健康保険特別会計(第2回)

〈事業勘定〉

増額： 5千円

計： 2億 206万1千円

増額の主なもの：償還金、利子および割引料など

□温泉開発特別会計(第2回)

歳入歳出の総額に変更なし

□介護保険特別会計(第2回)

歳入歳出の総額に変更なし

平成24年度決算に基づく財政健全化判断比率等について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は自治体の財政悪化状況の指標となる4つの健全化判断比率等を算定し、監査委員の審査に付した上で議会に報告するとともに、住民に対し公表することが義務付けられています。

それぞれの比率は、国の定める適正基準によって制限されており、「早期健全基準」を超えると自主的な改善努力を必要とする「財政健全化団体」、「財政再生基準」を超えると、国の関与による確実な再生を求められる「財政再生団体」となります。

平成24年度決算に基づく白川村の財政健全化判断比率は、前年度決算に引き続き、いずれの指標も国の定める適正基準をクリアしました。収入の一般財源などに占める借金返済額の割合を示す「実質公債費比率」は2.3%で、前年より5.5%改善しました。

今後も事業の厳選による起債発行の抑制等に努め、健全化の継続を目指します。

◇平成24年度決算に基づく健全化判断比率の状況◇

実質赤字比率 一般会計等の赤字の程度を指標化した比率

→ 実質赤字なし (早期健全化基準15.00% 財政再生基準20.00%)

連結実質赤字比率 ... 一般会計等に公営企業会計等を含めた村全体の赤字の程度を指標化した比率

→ 連結実質赤字なし (早期健全化基準20.00% 財政再生基準30.00%)

実質公債費比率 ... 収入のうち、どのくらいを借金の返済に充てているのかを示した比率

→ 2.3% (22年度4.3%・23年度2.0%・24年度0.7%の三カ年平均で算定)
(早期健全化基準25.0% 財政再生基準35.0%)

将来負担比率 借金残高など、将来支払う見込みの負担額が、将来の財政運営にどれだけ圧迫する可能性があるかを示した比率

→ 将来負担なし (早期健全化基準350.0%)

資金不足比率 公営企業会計における経営状況の深刻度を示した比率

→ 資金不足なし

※()内の数値は、国の定める適正基準です

消防署だより

平成25年度 全国統一防火標語
『消すまでは 心の警報 ONのまま』



「白川地域救急医療勉強会」

9月5日、白川出張所の敷地内において、白川診療所、駐在所、消防署と合同で交通事故現場を想定した連携訓練を実施しました。

今回の訓練では、警察官と消防職員が協力しての救出訓練や診療所と協力して、多数の負傷者への対応、救助の必要な負傷者の救出訓練を実施しました。

相互の役割を再確認するとともに、協力体制を強化することができました。



「白山スーパールン道救助訓練」

9月25日、白山スーパールン道において救助訓練を実施しました。



この訓練は例年、紅葉シーズンを迎えるこの時期に、森林公社、消防団、役場、駐在所、消防署が参加しているものです。

白山スーパールン道運茶屋駐車場より車が運転を誤って崖から転落し3名の負傷者が発生したとの想定で訓練を実施しました。

今回の訓練では、石川県及び岐阜県防災ヘリコプターで負傷者をピックアップし救出しました。

各関係機関との役割を再確認し事故が発生した時、迅速に対応できるように連携強化を図りました。

9月中の火災と救急 火災 0件 救急 16件 救助 0件

「福島県飯舘村の皆様へ招待ツアー」を実施

全村民で お・も・て・な・し !

9月25～28日の4日間、福島県飯舘村の高齢者26名を村に招待しました。飯舘村は東日本大震災で被災し、現在も村のほぼ全域が避難対象区域に指定されています。村民は県内外に散らばり、家族と離ればなれになりながら、出口の見えない避難生活を送っています。大自然に囲まれた暮らしとは全く違う避難生活は、想像以上に過酷で、ストレスによる体調不良を訴える村民の精神的なケアが求められていました。白川村では、そのような現状を少しでも緩和するための支援として、世界遺産観光、どぶろく祭りなどを楽しむことで、リフレッシュしていただけるよう飯舘村の皆様を白川村に招待することとしました。4日間様子を皆様にお伝えさせていただきます。



1日目

夕方4時頃村に到着。白川郷インターの交差点と消防署付近で、山腰観光協会長をはじめ有志数名が、歓迎の横断幕を持って出迎え。その後役場前にて歓迎式を行い、白川郷学園中学校全校生徒による合唱を披露。中学生の心に響く歌声に涙ぐむ姿も見られ、震災復興を願う白川村民の想いを伝えることができました。

2日目

白川郷耕雲塾の皆さんの案内により世界遺産集落を散策。展望台では、文教スタジオさんから集合写真のプレゼント。散策中には、今藤商店さんからの差し入れ。神田家さんでは、休憩をさせていただくなど、大変多くの方々から心温まるお志をいただきました。午後からは、平瀬八幡神社にて、どぶろく祭りに参加。獅子舞の見学、どぶろくの振る舞いなど、平瀬八幡神社や獅子舞保存会の協力により楽しんでいただくことができました。また、この日は気温が低かったため、飯舘村の方が寒いようにと、くろゆり荘の梨谷さんから半纏を提供していただきました。夜には、宿泊先のトヨタ白川郷自然学校にて、白川郷春駒保存会の春駒、鳩谷民謡保存会の民謡を披露し、村の郷土芸能を堪能していただくことができました。



3日目

高山市の協力により、飛騨高山を観光ガイドの案内により見学。帰村後、荻町の合掌民宿にチェックインし、夜は荻町区の協力によりムーンライトを点灯。城山天守閣さんの展望台から夜の世界遺産集落を一望させていただき、幻想的な景観に感嘆の声があがっていました。展望台からの帰りには、喫茶落人の長瀬さんのご厚意により、同喫茶店にて、温かい飲み物やぜんざいを御馳走していただきました。

4日目

お別れの日。朝8時30分頃旧荻町駐車場に集合。宿泊先の民宿の方々も見送りに来ていただきました。長瀬商工会長からお別れと激励のあいさつをしていただき、集まった村民とともに集合写真を撮影。そして、村民の皆様からお寄せいただいた、たくさんのお土産を手に、白川郷を後にしました。

4日間、村民皆様のご協力により飯舘村の皆様をお迎えし、楽しんでいただくことができました。参加者の皆様は、それぞれに楽しい思い出を作ってお帰りいただいたようでした。参加者の方々からいただいた言葉を紹介させていただきます。

「夢のような4日間でした。心から感謝しています。」「白川の方の心遣いに感激した。なんとお礼を言ってよいか…。」「避難生活は4畳半の暮らし。温泉や合掌造りでゆっくりできた。」「飯舘にも多くの郷土芸能があった。懐かしく感じ、胸が熱くなった。」「

飯舘村の皆さんをお迎えしたことで、多くの村民の皆様が自発的に関わっていただきました。「おもてなし」とは、お仕着せではなく、自らが、心から、お客様のために「楽しませたい」「喜んでもらいたい」と思い行動することであり、そういった村民皆様の姿勢にとっても感動しました。この取り組みは、飯舘村の復興の目途がたつまで毎年継続して実施する予定です。来年度も全村民による心からのおもてなしでお迎えし、飯舘村の復興を支援していきたいと思います。ご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

ご協力いただいた企業・団体・個人等の皆さんです

・白川郷学園白川中学校・(有)城山天守閣・文教スタジオ(株)・(有)今藤商店・神田家・白水園・ます園文助・平瀬八幡神社・平瀬獅子舞保存会・くろゆり荘・白川郷耕雲塾・白川郷春駒保存会・鳩谷民謡保存会・高山市観光課・オークビレッジ高山・喫茶落人・合掌民宿きどや・合掌民宿久松・合掌民宿ふるさと・田口屋製菓・トヨタ白川郷自然学校・(株)飛騨白川郷鳩工房・(有)レイク・ルイズ・白川郷きくらげ組合・柿崎京一・長瀬吉実・今藤英子・根尾須磨子・高島綾子・(一財)世界遺産合掌造り保存財団・白川村商工会・白川郷観光協会・NPO法人白川郷自然共生フォーラム (順不同、敬称略)

「インフルエンザ」に注意しましょう！

朝晩がめっきり寒くなる季節になってきましたね。とはいえ、日中はまだ暖かい日もあり、体温調節が難しい時期です。この時期診療所では、インフルエンザの予防接種が始まります。インフルエンザと風邪の症状はよく似ていますが、流行の時期と感染力などが大きく違います。また、特に高齢者の方やお子さま、妊娠中の方は、インフルエンザに感染すると風邪よりも症状が悪化しやすく、注意が必要です。

◆「インフルエンザ」と「風邪」はどう違うの？

	インフルエンザ	風 邪
症 状	急な高熱、悪寒、頭痛、 関節痛、筋肉痛	くしゃみ、鼻水、鼻づまり、 のどの痛み、せき、たん
流行の時期	12月～3月に流行のピーク。 5月まで流行することもある	一年を通してひくことがある

◆「インフルエンザ」を予防するためのポイント！

①ウイルスを身体に入れない

人ごみを避ける、手洗い・うがいをこめめする、マスクをする、部屋の湿度を高くする

②身体の免疫を高める

バランスのよい食生活をする、適度な運動と十分な睡眠をとる、予防接種を受ける



◆「インフルエンザ」にかかったら？

症状を悪化させないために、早めに適切な治療を受けましょう。また、他の人にうつさないために、必ずマスクをしましょう。熱が下がってもしばらくは身体にウイルスが残っているので、熱が下がってから2日程度は自宅療養が必要です。医師の指示に従い、十分休養を取りましょう。

●問い合わせ先 村民課 村民健康福祉係 TEL 6-1311

診療所 だより

伊左次 悟 先生



つながり

9月の初めに、自治医大の5年生による2泊3日の学生実習にあわせて、金井信行先生が診療所を訪れました。金井先生は20年以上前に白川村に赴任し4年間勤務されています。自治医大の卒業生として2番目に白川村に赴任していますが、僕はそのあとの10番目にあたります。金井先生は、現在は自治医大で医学教育と病理学の准教授を務めておられ、私の大学卒業時の指導担当教官でもありました。

診療所で、往診で、また村内で食事等の外出時にさまざまな時間につながる場面が多くありました。両父親を看取った娘さんとの久々の再会で、少し涙を浮かべ真剣な会話をされることがありました。時

には昔に予防接種をした姉妹が、ちょうど自分のお子さんを連れて予防接種に来ていたりもしました。当時の職員の人たちが宿にかけつけたりすることもあったようです。20年ほど経過してもいろいろなことがつながっていることをまさに実感できました。

その折には僕より13学年下の後輩が実習していたわけですが、そうした雰囲気の中でとても真剣に実習していきました。実習終了後に、午前中に担当した患者さんが気になりまた戻ってきて診療に加わるなどとても頑張っていました。

忙しい日々の日常の中では、そうしたつながりの中でやっていることをついつい忘れがちになります。たくさんの先人がいる中で今の仕事をしていることを考えると、少し緊張感が増してきますし、感謝の気持ちも生まれます。僕自身、村民皆さまのおかげでなんとか続けて9年目までたどりつきました。この先のことはわかりませんが、もし仕事や立場が変わったとしても、白川村とのつながりをずっと大事にしていけたらいいと本気で思えた今回の学生実習の受け入れでした。

「白川郷学園運動会・体育祭」開催！

小学校運動会スローガン 「自分達で創る運動会 全力・協力・責任」

中学校体育祭スローガン 「限界に挑む」



9月7日(土) 小中学校合同による「白川郷学園運動会・体育祭」が開催されました。児童生徒たちは、今年で2回目を迎えた合同運動会・体育祭を更に良いものにしようと、小中学校それぞれに掲げたスローガン目指して取り組み、全員で大会を盛り上げました。また、競技の途中では、昨年に引き続き白川民謡「こだいじん」の手踊りを披露。地域の民謡保存会から教えていただいた三味線や太鼓などの楽器演奏も初めて披露し、練習の成果を大勢の方に観ていただきました。大会は、大玉送りやリレーなど定番のものから各学年工夫を凝らした競技が繰り広げられた結果、小学校運動会は「同点優勝」、中学校体育祭は僅差で「白組優勝」となりましたが、児童生徒が全力で競技に挑む姿、協力し助け合う姿、声をからして応援する姿など、すべての姿から「感動」が伝わる運動会・体育祭となりました。

